

「近代社会と宗教」(八木)ゼミ
1月18日(月) 107教室 16:00~

卒論発表会

どなたでも自由に参加してください。途中での出入りは自由です。

- ①16:00~16:10 清水美帆 日本人の死生観—葬儀の個人化に伴う変遷について—
- ②16:10~16:20 石井翔子 現代におけるスピリチュアリティと癒し—四国遍路とサンディアゴ・デ・コンポステラを例に
- ③16:25~16:35 門脇昂大 新宗教のメディア利用とカリスマの創出—幸福の科学と真如苑の事例から—
- ④16:35~16:45 美濃はるか なぜオウム真理教には高学歴の若者が多かったのか
- ⑤16:50~17:00 野口雅貴 フランスのモロッコ系移民出身者にみるイスラーム教の普遍性と地域性
- ⑥17:00~17:10 小原美寿佳 歌は宗教を広めるか—キリスト教とイスラーム教から見る「歌」と宗教の関わり—
- ⑦17:15~17:25 倉持由貴子 エジプトのマリア出現に見るマリアの象徴性考察
- ⑧17:25~17:35 作見紅里 現代日本社会におけるハラール認証—マレーシア人イスラーム教徒の実践及びハラールロゴの検討から—
- ⑨17:40~17:50 中沢莉奈 ポル・ポト政権に見られる宗教性—宗教としてのオンカー
- ⑩17:55~18:05 田所真帆 恋愛におけるイスラームの影響—チュニジアの若者の場合
- ⑪18:10~18:20 森谷巧 日本プロ野球にみられる宗教性—日本人の宗教観を探る—
- ⑫18:20~18:30 黒川一幸 ウィンブルドンにみる聖性—聖地たる所以
- ⑬18:30~18:40 大沼千秋 跡部景吾は神か?—21世紀における神の形成の考察—

二発表ごとに五分間のブレイクを入れます。
質問などは、この五分の間にまとめてお願いします。